



いわき市

市長記者会見

令和4年8月23日

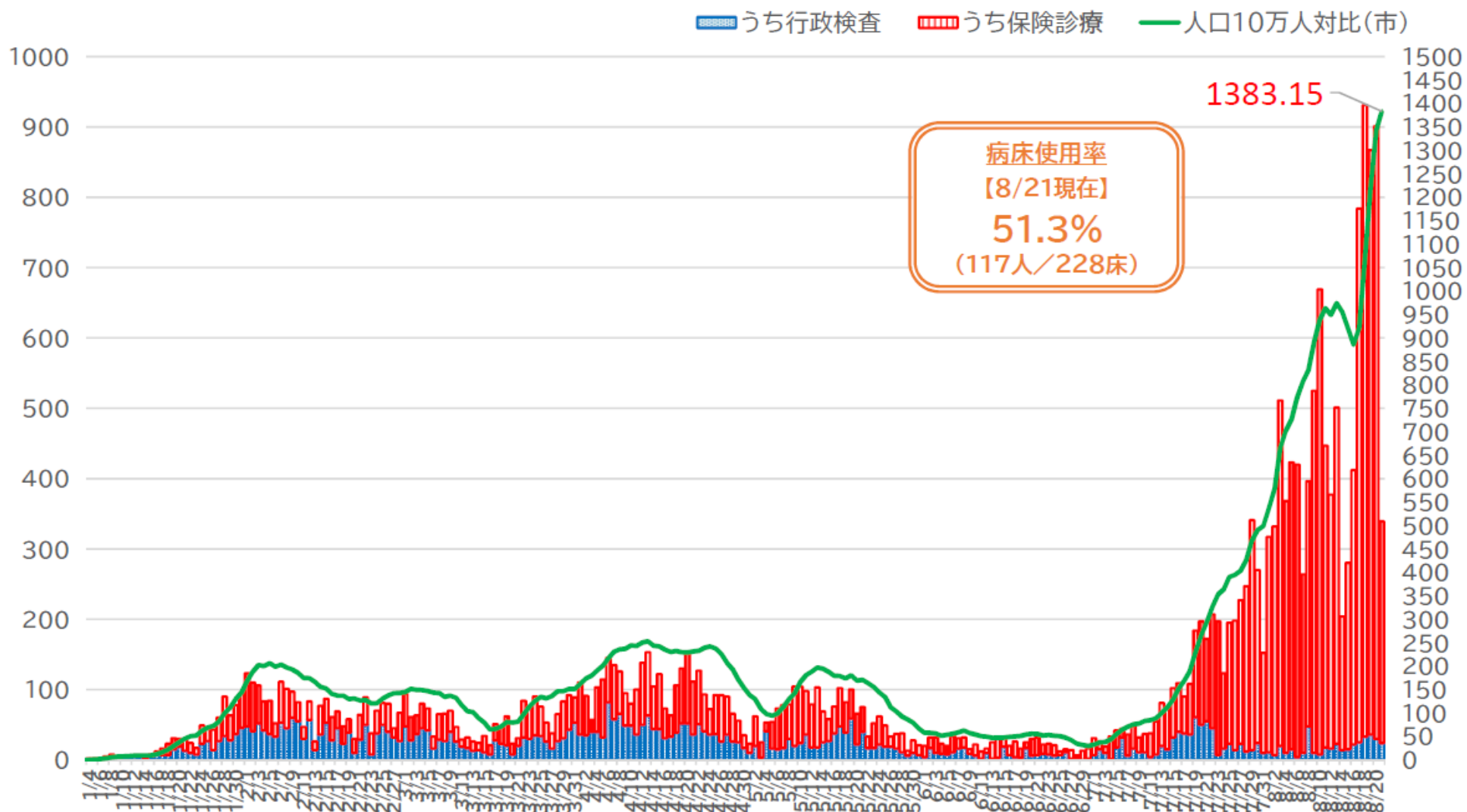


いわき市

案 件

- 1 ヘルスケアアプリ「HELPO」の拡充(登録1万人まで)など
今後の新型コロナウイルス感染対策について

新規感染者数と人口10万人対比の推移



直近2週間の状況

陽性判明日	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21
陽性者数	420	264	396	525	669	447	377	501	204	280	412	784	931	867	901	339
うち行政検査	4	10	48	10	8	18	16	23	14	15	22	25	33	36	30	24
うち保険診療	416	254	348	515	661	429	361	478	190	265	390	759	898	831	871	315
人口10万人対比	772.78	807.09	831.30	890.44	938.85	963.37	949.27	974.09	955.70	920.16	885.54	920.77	1069.08	1219.22	1341.79	1383.15

最近の爆発的な感染拡大の一般的傾向

- ✓ 夏祭りの場そのものよりも、祭り前後の食事会
(マスクなし)
- ✓ 夏の帰省(お盆)での家族間での食事などでの感染
(マスクなし)
- ✓ 病院や高齢者施設での感染拡大

【市独自策】 HELPOの拡充(1万人まで拡充)について

医療ひっばくへの対策 (【市独自】HELPOの拡充➡ 希望する対象者全員の相談が可能な体制へ)

- ✓ ヘルスケアアプリ「HELPO」(市独自)での健康相談(医師・薬剤師・看護師・栄養士等)の活用
 - ➡ 陽性者、濃厚接触者、小学生以下の子育て中の保護者、妊婦(ほとんど待ち時間なしの対応)
 - ➡ 現在、5千人まで登録可能(既に1500人が登録、更に3500人の登録が可能)
 - ➡ さらに、5000アカウント追加し、合計10000人まで登録可能へ

➡ 陽性者、濃厚接触者、発熱者で軽症者等の利用促進

➡ 上記の者の医療機関受診を回避し、医療機関は真に必要な方【注①】の受診にできるだけ専念

【注】真に必要な方:65歳以上または基礎疾患ある方

➡かかりつけ医または診療検査医療機関を受診

※上記以外の方は、検査キットが陽性の場合、県の陽性者登録センターが陽性判定(8/22～)

○検査方法:

抗原検査キット(県)➡濃厚接触者、有症状者 / ドライブスルー検査(市)➡濃厚接触者
薬局等での検査【市内46か所】(県)➡無症状者で感染の不安がある方

新型コロナウイルスワクチン4回目接種について

1 対象者

- (1) 60歳以上の者
- (2) 18歳～59歳で基礎疾患を有する者等
- (3) 医療従事者、高齢者・障がい者施設従事者(令和4年7月22日から)



2 接種実績(8月21日現在)

47,265人(対象者数・・・約135,000人)

【参考】 8/21までに、3回目接種から5ヶ月経過した方のうち、
4回目接種をした方の割合 約50%

(8/14現在)	4回目接種率	4回目接種数
全 国	14.7%	18,606,428
福島県	16.2%	302,460
いわき市	12.5%	39,901

※全人口に対する接種率

3 4回目接種促進の取り組み

- (1) 個別・集団接種の予約枠を随時増設
- (2) 「夜間接種」の実施(いわきグリーンベース:金曜日、土曜日)

重症化しやすい「高齢者」や「基礎疾患をお持ちの方」等は、
早めの接種をお願いします。



いわき市

案 件

2 原油価格・物価高騰等総合緊急対策について

三 事業費総額：11億 6,796万 8千円 三

I

コロナ禍における原油価格・

物価高騰等総合緊急対策

7億 6,001万 4千円

生活者支援

3億 5,355万 2千円

事業者支援

3億 4,548万 2千円

経済活動回復

6,098万円

II

新型コロナウイルス感染症対策

4億 795万 4千円

感染拡大防止対策

1億 3,949万 6千円

DX・スマート

2億 6,845万 8千円

I 原油価格・物価高騰等総合緊急対策関連（生活者支援）

1 物価高騰対応生活困窮世帯緊急補助事業費

2億 4,660万 4千円

原油価格や物価の高騰による生活困窮世帯への影響を緩和するため、県の補助事業を活用し、電気やガスなどの光熱費等を助成する。

[担当課：保健福祉課]

○ 支給対象者・世帯数

令和4年度住民税非課税世帯（世帯全員が非課税）のうち、
① 65歳以上の高齢者のみ世帯（約23,200世帯）
② 障がい者世帯（約3,100世帯）
③ ひとり親世帯（約1,500世帯）
④ 生活保護世帯〔①～③非該当〕（約400世帯） 合計：約28,200世帯
※ ①～③は県の補助を活用、④は市の単独事業

○ 給付額

1世帯あたり7,000円

2 保育所・幼稚園等における給食費の高騰対策

6,517万 9千円

食材価格の高騰が続く中、子育て世帯の経済的負担を増やすことなく、市内保育所・幼稚園等において、質や量を保った給食の提供継続を図るため、副食材料費高騰分相当額を支援する。

[担当課：こども支援課]



3 小・中学校における学校給食費の高騰対策

2,266万 1千円

食材価格の高騰が続く中、子育て世帯の経済的負担を増やすことなく、市内小・中学校において質や量を保った給食の提供継続を図るため、食材料費高騰分相当額を支援する。

[担当課：学校支援課]



4 ウクライナ避難民支援事業費

643万 2千円

ロシアの軍事侵攻によりウクライナから本市に避難された方々が、安心して暮らすことができる生活環境等の確保を図るため、本市独自に支援金の支給や住居の提供等の支援を行う。

《支援内容》

- 支援金の支給（1人あたり10万円）
- 住居・音声翻訳機の提供

[担当課：文化交流課]



I 原油価格・物価高騰等総合緊急対策関連（事業者支援）

1 施設園芸農家緊急支援事業費補助金

9,352万 1千円

原油価格の高騰により事業経営に影響を受けている施設園芸農家の負担軽減や、農業経営の安定を図るため、市内施設園芸農家に対し、燃料費高騰分相当額を補助する。

[担当課：生産振興課]



種 別	補助単価
A重油 灯油	27円以内/ℓ
LPG	42円以内/kg

2 交通事業者車両維持支援金

7,850万円

燃料費の高騰により影響を受けている交通事業者の事業経営の安定や、市民の安全な移動手段の確保を図るため、市内交通事業者に対し、車両維持のための支援金を給付する。

[担当課：都市計画課総合交通対策担当]

区 分	給付単価
乗合バス	1台あたり20万円
貸切バス	1台あたり10万円
乗合タクシー 福祉タクシー	1台あたり 5万円

3 林業・木材産業等緊急支援事業費補助金

7,576万 2千円

原油価格の高騰により事業経営に影響を受けている林業・木材産業等事業者の負担軽減や、経営の安定を図るため、市内事業者に対し、燃料費高騰分相当額を補助する。

[担当課：林務課]



種 別	補助単価
A重油 灯 油 軽 油	27円以内/ℓ

I 原油価格・物価高騰等総合緊急対策関連（事業者支援）



4 公共交通需要回復緊急支援事業費補助金

7,260万円

公共交通の利用回復を図るため、市内公共交通事業者が実施する前払い式プレミアム付き乗車回数券発行等に要する経費の一部を補助する。

[担当課：都市計画課総合交通対策担当]

プレミアム付タクシーチケット
¥5000 (¥7500分利用可)
(500円券 15枚)

使用期限
令和4年11月～
令和5年3月まで
〇〇タクシー株式会社 ※払戻しは出来ません

**2500円
お得！**

**プレミアム
セット回数券**
¥3000
(¥5400分利用可)
(100円券 36枚)
(50円券 24枚)
(20円券 30枚)

使用期限
令和4年11月～
令和5年3月まで
〇〇バス株式会社 ※払戻しは出来ません

**2400円
お得！**

区 分	プレミアム（補助単価）	区 分	プレミアム（補助単価）
バ ス	3,000円→5,400円相当 ：プレミアム2,400円	タ ク シー	5,000円→7,500円相当 ：プレミアム2,500円

5 学校給食魚食普及推進事業費 物価高騰対策分

2,509万 9千円

原油価格の高騰により影響を受けている漁業者の事業経営の安定や、本市産水産物の消費量維持を図るため、学校給食に本市産水産物を活用した食材を提供する。

《給食提供回数》

既存事業9回分＋補正予算分9回分

：年間合計18回分

[担当課：水産課]



I 原油価格・物価高騰等総合緊急対策関連（経済活動回復）



1 観光バスツアー誘客事業費

2,595万 9千円

新型コロナウイルス感染拡大により減少した観光交流人口の回復に向け、市内観光地等を訪れるバスツアーを実施する旅行会社等に対し、貸切バス借上げ経費の一部を補助する。

[担当課：観光振興課]



参加者数	補助額	
	日帰り	宿泊
10～19人	20,000円	50,000円
20～29人	30,000円	75,000円
30人以上	40,000円	100,000円

2 観光業需要回復支援事業費

1,608万円

新型コロナウイルス感染拡大により減少した観光交流人口の回復に向け、本市における宿泊需要の確保を図るため、宿泊割引クーポンを追加発行する。

[担当課：観光振興課]



割引額	枚数	利用条件
1,000円	500枚	宿泊料金6,500円以上 大人1人以上
5,000円	830枚	宿泊料金15,000円以上 大人2人以上
10,000円	835枚	宿泊料金20,000円以上 大人3人以上

3 アウェイサポーターウェルカム事業費

371万 1千円

いわきFC戦を契機とし、本市への誘客促進及び認知度向上を図るため、ホーム戦でアウェイサポーターに対し観光面でのおもてなしを提供するとともに、アウェイ戦で本市の観光PRを行う。

[担当課：観光振興課]

1 次世代の教育情報化推進事業費

1億 324万 3千円

家庭でのオンライン学習に対応していない小学校の学習用端末について、自宅への持ち帰りに備えた対応強化や、児童・生徒用デジタル教科書の導入を見据えたICT学習環境の整備を図る。

○ 整備済 ：約15,000台

今回整備：約 2,000台

※ 全体約17,000台整備完了(小学校)

[担当課：学校教育課]



2 公共施設における感染拡大防止対策

2,619万 7千円

安全・安心な施設利用や、施設利用者の感染拡大防止を図るため、検温機器の整備や、空調設備・トイレの改修等を進める。

施 設	対策内容	事業費	
市企業交流会館	空調設備・トイレ改修	1,062万 6千円	[担当課：工業・港湾課]
児童館	トイレ改修	892万 1千円	[担当課：こども支援課]
市立公民館・図書館	検温機器整備	665万円	[担当課：生涯学習課・総合図書館]

Ⅱ 新型コロナウイルス感染症対策関連（DX・スマート）

1 行政DX推進事業費

5,316万円

庁内における各種会議や議会事務等におけるデジタル化・ペーパーレス化を推進するため、ペーパーレス会議システム及びタブレット端末を導入する。

- 導入台数：163台
 - ・ 特別職：10台
 - ・ 部長職：22台
 - ・ 次長職：34台
 - ・ 課長職：97台

[担当課：情報政策課]



2 次世代交通システムによる交通イノベーション推進事業費 1,726万 2千円

出張行政サービス『お出かけ市役所』として実証を進めてきた行政MaaSの本格実施に向け、マルチタスク車両を導入する。

[担当課：スマート社会推進課]





いわき市

案 件

3 「おくやみコーナー」の開設について

おくやみコーナーの開設について

身近な人がお亡くなりになった際の御遺族の負担を軽減するため、必要な手続きを行う、ワンストップ窓口「おくやみコーナー」を設置します。

1 設置場所 本庁市民課

2 開始時期 令和4年9月26日(月) ※ 9月12日(月) より予約の受付を開始

3 利用方法 電話による事前予約制 2週間前より予約が可能

4 サービス内容

- ① 死亡時に市役所で行う必要がある手続きを、ITツール「手続きガイド」を利用し、一人一人にあった**手続きを洗い出してリスト化し、必要な窓口（健康保険や介護保険、医療費助成関連など）を案内**します。
- ② 手続きの負担軽減のため、各窓口で必要な書類に**氏名、住所、生年月日などの故人の基本情報を予め印字**する作成補助を行います。

おくやみコーナーご利用のイメージ

(1) 電話で「おくやみコーナー」利用の予約を受付けます。



(2) 「おくやみコーナー」に案内し、亡くなった方や来庁された方の情報など必要な項目を確認します。



(3) 「手続きガイド」(タブレット) を利用し、ご遺族の方に確認しながら必要書類を洗い出し、書類を準備します。



(4) 必要書類と庁内の各窓口がわかるマップをお渡しします。



(5) ご遺族の方は、案内のとおり各担当窓口で手続きを行うことができます。



※ 庁外の手続きなども併せてわかる「おくやみハンドブック」もお渡しします。



いわき市

案 件

4 子どもインフルエンザ予防接種助成事業について

子どものインフルエンザ予防接種費用を助成

事業の目的

- 「子育て世代」の経済的負担を軽減
- 接種促進による感染時の重症化・合併症の予防

事業の概要

医療機関に支払う予防接種の費用のうち、接種1回あたり2,000円を助成

※ 接種者は料金との差額のみを支払うこととなります

子どもインフルエンザ予防接種助成事業

内容

期 間

10月1日から翌年2月末日まで

対象者

いわき市に住民登録のある
生後6か月から中学3年生までの子ども

助成額

接種1回あたり2,000円

(13歳未満は2回、13歳以上は1回)

実施場所

登録医療機関 市内110か所

子どもインフルエンザ予防接種助成事業

イメージ

子育て世帯



かかりつけ医など
で接種・料金支払い

料金から助成額分（2,000円）
を控除して請求

登録医療機関

（委託先：110か所）



委託料

いわき市



（※）登録医療機関以外で接種する場合のみ、市への事前手続き及び接種後の助成金交付申請が必要です（償還払い）。